

# 避難所宿泊体験記



6月26・27日に幸田町手をつなぐ育成会が中心となり、つどいの家で避難所宿泊体験を実施しました。災害に備えるための実践的な訓練の様子をご紹介します。

## 避難所宿泊体験

### 1日目

- ・午後4時 参加者の受付 (②)
- ・午後4時15分 防災食作り (③～⑤)
- ・午後5時15分 防災ボランティアによる防災劇 (⑥・⑦)
- ・午後6時 食事 (⑧・⑨)
- ・午後7時 宿泊準備スタート (①・⑩)
- ・午後8時 テントの設営と毛布の配布完了 (⑪・⑫)
- ・午後9時 ミーティング
- ・午後10時 消灯



幸田町手をつなぐ育成会  
こやまこうけん  
 会長 小山興建さん

**幸田町手をつなぐ育成会とは**  
 知的障がい者(児)本人と、その保護者で組織され、各行事を通して、障がい者(児)の自立支援や、家族同士や支援者との交流を図っています。

### 宿泊体験を始めたきっかけ

東日本大震災です。災害により避難所での生活が必要となった場合、知的障がいのある子どもたちは初めての環境ですぐに適應することが難しいと考えられます。

実際に避難所の集団生活に適應できないと考えた親が、子どもと車で生活していて、エコーミー症候群で亡くなるケースもありました。

このようなことが心配されるため、年に1回ですが、避難所での生活を体験する、宿泊体験を始めました。



## 2日目

- ・午前7時 起床・ラジオ体操
- ・午前7時10分 テントの片付け・朝食の準備
- ・午前7時30分 朝食 (⑬)
- ・午前8時 後片付け・掃除
- ・午前9時 解散

## 体験を終えて

今回が2回目となる宿泊体験、初めての時は泊まることのできるか不安だったが、2回目は少し余裕ができたそうです。

1回目の経験が確実に力になってきている。今後、この活動の輪を広げていきたいと語ってくれました。

## 防災ボランティア幸田とは

防災および災害時に活動を行うボランティアとして、知識と技術の向上を目指し、地域住民と共にボランティア活動を行うことを目的とした団体です。平成15年に発足し、現在28人のメンバーで活動中。

## こんな活動をしています

防災活動及び災害時の支援活動や防災ボランティアとしての知識と技術の向上のための学習会、防災ボランティア活動の啓蒙、各種団体との交流会などを行っています。

主な活動として、D-I-G（地図を使った防災対策を検討する訓練）、劇団「あん・あん」として防災劇の披露、防災クッキングを行い、幸田福祉・ボランティアまつりなど行事への参加も積極的に行っています。

問合せ 幸田町社会福祉協議会

☎027-7171

## 幸田町総合防災訓練に参加しましょう！

とき

9月5日(土)午前9時～

ところ

防災広場

内容

消防署による救助・救出訓練や各種企業団体による復旧訓練、ボランティア支援本部設置訓練を実施するほか、当日の参加者による起震車体験や煙体験を行います

問合せ

予防防災課 予防G

☎63-0513

## あいちシェイクアウト訓練

とき

9月1日(火)正午から1分間

内容

時報を合図に地震から身の安全を守る行動の1-2-3を約1分間実施していただきます。



問合せ

愛知県防災局災害対策課  
支援グループ

☎052-954-6149